

■あすから日米共同訓練 米P3C、鹿屋到着 海軍55人も現地入り

(2008 11/12 「南日本新聞」)

鹿屋市の海上自衛隊鹿屋航空基地を使って13日から始まる日米共同訓練に参加する米海軍のP3C哨戒機(青森県三沢市・三沢基地所属)1機が11日、鹿屋基地に到着した。今回の飛来で同基地に滞在する米海軍の隊員約55人全員が現地入りを終えた。1981年以降毎年行われている共同訓練で、米軍が鹿屋基地を使用するのは初めて。

米P3Cは午後2時10分ごろ到着。搭乗員ら十数人が手荷物を持って降り立った。午後2時45分ごろにはジェット機のC9輸送機が飛来、機材や生活用品などを運んだ。C9は12日にも最終の物資を運ぶ予定。

訓練本番を前に鹿屋基地の坂田竜三第一航空群司令が報道各社の取材に応じ、「訓練期間は例年より短いですが、集中して効果的な訓練にしたい。騒音問題などあるが、国の安全保障に必要な訓練なのでご理解いただきたい」と話した。

訓練は19日まで、九州周辺から南西諸島周辺に至る海域で行われる。米海軍からは艦艇約20隻が参加。海自側は同時期に同じ海域などで行う演習部隊を含め艦艇約25隻、航空機約50機が加わる。主に対潜戦や対空戦、対水上戦を中心に行うという。

■日米共同訓練 先遣隊の鹿屋入り延期 駐留人員50-60人に増

(「南日本新聞」2008 11/08)

海上自衛隊鹿屋航空基地に7日、米海軍から入った連絡によると、13日から行われる日米共同訓練の準備のため8日に予定されていた先遣隊の同基地入りは、C130輸送機の故障により9日に延期された。13-19日の訓練日程は変わらない。

また米海軍からは訓練中の機体トラブルに備えて整備員を増やし、当初約40人としていた同基地の駐留人員が50-60人になるとの連絡もあったという。

同基地によると、C130では機材などを運搬し、それに伴う要員が基地に入る。11日にはP3C哨戒機(三沢基地所属)1機が飛来し、司令部や搭乗員、整備員ら全員がそろそろ予定。

日米共同訓練は、海上自衛隊演習と絡めて九州周辺から南西諸島周辺に至る海域で行われ、米海軍から艦艇約20隻が参加。海自演習には全体で艦艇約25隻、航空機約50機が参加する。

共同訓練の前線基地となる鹿屋基地では訓練期間中、24時間態勢で航空機やヘリコプターが離着陸する見込み。九州防衛局(福岡市)は7日、周辺自治体との連絡調整を行う現地連絡所(4人)を同基地内に設置した。



日米共同訓練に参加するため飛来した米海軍のP3C哨戒機=11日午後2時20分ごろ、鹿屋市の海上自衛隊鹿屋航空基地

■反対派市民ら300人が集会

「鹿児島に米軍はいらない県民の会」(荒川譲会長)などは7日、鹿屋市の海上自衛隊鹿屋航空基地を使って行われる日米共同訓練に反対する集会を同市役所前で開いた。訓練反対などを求めるアピール案を採択し、市街地をデモ行進した。

同会や「鹿屋に米軍はいらない大隅住民の会」(堂園誠一会長)などから約300人(主催者発表)が参加。荒川会長が「訓練は日米軍事一体化を進める。在日米軍再編計画の下調べでもあり承認できない」などと訴えた。

集会後は「鹿屋に米軍はいらない」などののぼりを掲げ、市街地をデモ行進。「鹿屋での日米共同訓練反対」「鹿屋に米軍は来るな」などシュプレヒコールを上げ、沿道の市民に訓練反対への理解を求めた。

日米共同訓練反対を訴えて氣勢をあげる「鹿児島に米軍はいらない県民の会」などの会員ら=7日午後6時50分ごろ、鹿屋市



■鹿屋で日米共同訓練 来月8日から、米軍P3C1機参加

(2008 10/01 「南日本新聞」)

鹿屋市は、30日開いた市議会全員協議会で、海上自衛隊鹿屋航空基地を使用する日米共同訓練が11月8日から実施されることを明らかにした。1981年に始まった共同訓練での同基地使用は初めて。市は「防衛省から、今回の訓練は米軍再編や馬毛島の訓練施設移設とは全く関係ないと確認した」としている。

同市と第一航空群司令部によると、訓練は11月23日まで、九州の西・東方海域と南西諸島の周辺海域で行われる。初めと終わりの4、5日間は準備と撤収に当てるため実質約1週間、対潜水艦戦の共同作戦が中心。

米軍のP3C1機（三沢基地所属）と約40人が鹿屋基地を拠点に参加して、P3C用支援機材を一時的に設置する。駐留はしないが、訓練前の事前調査や人員輸送のため、C12小型輸送機とC130輸送機1機も飛来する。第一航空群からは約1400人と、所有するP3C約20機の中から、作戦内容に応じて参加する。

鹿屋基地以外も含めた全体の参加規模は、11月初めに発表される予定。訓練は昼夜行い、準備期間中に米軍のP3Cが鹿屋基地で離発着訓練をする可能性もある。米軍の宿泊先などは未定という。

防衛省は今回の訓練に際して、鹿屋基地を米軍と共同使用することに鹿屋市の同意を求めている。市は「後日提出される文書を確認してから返答を考えたい」としている。

坂田竜三群司令は「部隊の戦術技量、日米共同対処能力を向上させ、日米間の信頼関係を強化させるためのよい機会ととらえている」とコメントした。

防衛省側は29日、鹿児島県にも共同訓練実施を説明した。



米軍のP3C哨戒機＝沖縄県の米軍嘉手納基地